

◆きぬむすめ栽培について

6月後半から梅雨らしい天気が続いていますが、7月に入りきぬむすめも順調に生育しています。これから8月に入り出穂を迎えるなど、水稻栽培の重要な時期を迎えます。

きぬむすめ栽培概要

平成24年度 水稻品種試験

田植え 平成24年 5月25日

基肥 有機入エムコート282
(水稻一発肥料)
平成24年 5月25日
反当 40kg

除草剤 トップガンGT 1kg粒剤



今年度も、安積営農組合に委託しておりますきぬむすめの試験栽培は、一宮町曲里の圃場に看板を設置し、栽培概要を記載しております。農家の皆さん、一度試験圃場をご覧ください。

◆土壌分析について

JAハリマでは収量向上のための土づくりを目的とした土壌分析を、平成22年度から3年計画で行っています。この22年・23年で実施した分析結果を基に、土壌分析説明会を8月に実施します。地域における土壌の傾向や、収量向上を目指した土壌改良対策についての説明を行いますので、皆さんぜひご参加ください。

作型

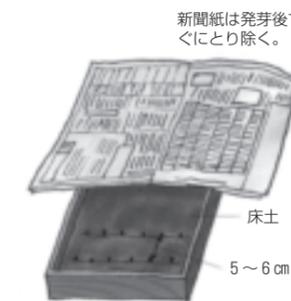
あまり早まきすると、とう立ちして、大きな玉にならない。暑さと乾燥に弱いため、灌水を忘れずに行う。秋まきが作りやすい。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
年内どり							○	△			■	■	YR泰山・彩風

○：種まき △：植え付け ■：収穫

■育苗

- (1) ト口箱などに条間5～6cmで、すじ状にまく。
- (2) うすく覆土(5mm)し、鎮圧する。発芽まで新聞紙をかける。
- (3) 発芽したら2cmに間引き、本葉2枚の頃、ポットに移植する。(9cmポット)
- (4) 種まき後35～45日位、本葉5～6枚の苗を定植する。
灌水：午前～日中に行う。追肥は液肥500倍液を灌水代わりに散布
床土の作成：1㎡当たり完熟堆肥2kg、BMようりん50g、セルカ150g、野菜専用肥料100g



畑の準備・定植

土づくり a 当たり	
堆肥	400kg
セルカ(有機石灰)	15kg
元肥 a 当たり	
醗酵鶏糞	30kg

- 2条千鳥植え：畝幅120cm
- 株間30～40cm (条間40～45cm)



本葉5～6枚の頃、丁寧に植える。植える前に灌水をして鉢の乾きを防ぐ。



外葉が大きくなると大きな玉にならない。

土寄せをしないと株が転んでしまう。

追肥・土寄せ

- 定植後30日頃：追肥後、軽く土寄せを行う。
- 結球開始時期：追肥する。
(追肥の量：それぞれ野菜専用肥料5kg/a)

防除

病虫害名	耕種防除	薬剤防除
コナガ	幼虫を捕殺	エルサン乳剤(1,000～1,500倍)14日前まで2回
アオムシ	防虫網を張る	モスピラン水溶剤(1,000～2,000倍)7日前まで5回
ヨトウムシ	早期に見出し捕殺する	トレボン乳剤(1,000～2,000倍)3日前まで3回

収穫

- 手で押さえてみて、固くなっているものから収穫する。
- 長い間畑に放置すると、裂球やとう立ちする。
- 先がとがってきたら、とう立ちする株である。